

問1 ノルマントン号事件によって引き起こされた、当時の日本の社会状況や外交上の動きとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

- ロシアの南下を恐れ、イギリスとの間に日英同盟を締結した。
- 江戸幕府が結んだ和親条約を破棄し、鎖国体制へと戻った。
- 国民の憤りが高まり、不平等条約の改正を求める運動が激化した。
- 領事裁判権の撤廃を条件に、下関条約を締結して講和した。

問2 明治維新後の政治体制が整えられていく過程において、1868年に天皇が神に誓う形式で発表され、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した文書を何といいますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- 五箇条の御誓文
- 大日本帝国憲法
- 教育勅語
- 民選議院設立の建白書

問3 明治時代の北海道において、全国から移住した兵士たちが担った役割やその制度の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)

- 北方の守りを固めると同時に、食料の自給や都市づくりのための道路整備などを行う役割。
- 九州沿岸の警備を目的として、東国から農民を徴収して配置した役割。
- 大名が合戦に備えて雇い、足軽として最前線で戦わせるための軍事制度。
- 国民皆兵の原則に基づき、満20歳以上の男子に一律に兵役を課した徴兵制度。

問4 明治時代における就学率の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- 男子の就学率は最初から100%に達していたが、女子は明治時代を通じて50%を超えることはなかった
- 日清・日露戦争の影響で、明治時代末期にかけて就学率は大幅に低下した
- 学制が公布された直後から、男女ともに就学率は90%を超えていた
- 制度開始当初は男女の差が大きかったが、1900年ごろには男女ともに就学率がほぼ100%に達した

問5 1889年に発布された大日本帝国憲法は、伊藤博文らがドイツ（プロイセン）の憲法を調査・研究して作成されました。明治政府がプロイセン憲法を手本とした背景として、両者に共通する政治的な特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- 君主は政治的な権限を一切持たず、儀礼的な役割のみを担う国の象徴として定義されている点
- 国民に主権があり、国会が国の最高機関としてすべての政策を決定する民主的な仕組みである点
- 司法・立法・行政の三権が完全に独立しており、互いに厳格に抑制しあう権力分立の点
- 君主（天皇や皇帝）が統治権の主体であり、軍の統帥権や宣戦布告などの強い権限を持っている点

問6 明治政府が、それまでのような収穫量に応じた米による徴収をやめ、地租改正によって現金で税を徴収する仕組みを導入した最も大きな目的として、適切な説明を選択してください。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

- 江戸時代の厳しい増税を緩和し、農民の生活負担を大幅に減らすため。
- 地券の発行を中止し、すべての土地を国有化して管理しやすくするため。
- 貨幣の流通を制限することで、急激なインフレーションを抑制するため。
- 天候や作柄による収穫量の変動に左右されず、政府の徴収を安定させるため。

問7 日清戦争の講和条約である下関条約の内容として、一度は日本への割譲が決まったものの、その後の他国からの勧告によって返還することになった地域はどこですか。朝鮮半島の西側の付け根に位置する場所を選択してください。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

- 澎湖諸島
- 台湾
- 遼東半島
- 南樺太

問8 北海道の歴史をまとめた説明において、かつて先住民であるアイヌの人々が住んでいた土地に対し、明治政府が「開拓使」という役所を設置して行った政策の背景として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)

- 清との貿易を独占し、北海道を中継地点とした大規模な国際港を建設するため
- アイヌの人々の伝統的な文化や生活様式を保護し、自治権を認めるため
- ロシアの南下政策に対抗するための防備と、近代化に必要な資源開発を行うため
- 廃藩置県によって失業した士族を全員移住させ、軍事訓練のみに専念させるため

問9 19世紀後半以降の列強によるアジア・アフリカへの進出について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- 国内の過剰な人口を移住させるために、未開拓地の農業開発を主目的とした。
- 自由貿易を促進するため、アジア・アフリカ諸国との関税を撤廃し対等な関係を築いた。
- 世界恐慌への対策として、自国と植民地の間だけで経済を完結させる仕組みを作った。
- 工業製品の市場や資源の供給地を求め、軍事力を背景に植民地を拡大した。

問10 1900年前後の日本の文化史において、歴史的背景とその時期に流行した文芸思潮の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)

- 明治維新の直後、欧米の思想を拒絶するために、日本独自の精神性を追求するプロレタリア文学が生まれた。
- 第一次世界大戦の開戦後、徹底的に現実を写し取ろうとする自然主義がロマン主義に代わって台頭し、個性を否定した。
- 日露戦争前後の時期、国家の発展とともに個人の自我が目覚め、個性を重んじるロマン主義が広がった。
- 日清戦争の直後、文明開化への反動から江戸時代の戯作文学を復興させる動きが主流となった。

問11 明治時代の外交において、日清戦争の講和条約である下関条約が結ばれてから、日露戦争が始まるまでの時期に起きた出来事として正しいものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

- 陸奥宗光がイギリスとの交渉を行い、領事裁判権の撤廃を実現した
- ロシアの南下に対抗するため、イギリスとの間で日英同盟を結んだ
- 小村寿太郎がアメリカとの交渉を経て、関税自主権の完全な回復を達成した
- 岩倉具視らが欧米諸国を視察し、不平等条約の改正交渉を試みた

問12 日露戦争後の日本政府が、主要な私有鉄道を買い取り、官営鉄道へ統合する政策を進めた目的と影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

- 全国的な輸送体系の一元化と軍事・経済上の効率化を目指し、主要路線を政府の管理下に置いた。
- 輸入による貿易赤字を解消するため、国内の鉄道資材をすべて海外に輸出する政策を実施した。
- 地方自治体に鉄道経営を分散させるため、中央政府の所有する路線を各地の民間団体に売却した。
- 都市部の路面電車事業を保護するために、長距離の私鉄路線のみを廃止して道路へ転換した。

問13 1870年頃の日本の貿易において、生糸や茶は主要な輸出品でした。群馬県などの内陸部で生産された生糸を海外へ輸出するための最大の拠点となり、幕末の開港以降、日本の近代化を支える貿易港として発展した都市はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)

- 神戸
- 長崎
- 横浜
- 新潟